

自分を守る！	▶ 初動体制の構築	社員等に対する教育・啓発・訓練を行う
--------	-----------	--------------------

003	若手漁業者リーダーによる各地域の災害対策の情報交換と、漁協女性部による防災チェックシートの作成	取組主体		
		全国漁業協同組合連合会（JF 全漁連）		
		従業員数	想定災害	実施地域
		243 人	全般	東京都

- ・ 漁業の現場における災害について、過去の経験や対応を踏まえた防災対策を検討。青年部では全国の若手漁業者リーダーによる各地域の災害対策の情報交換を、女性部では漁村で働く女性たちに向けた防災チェックシートの作成をそれぞれ実施した。

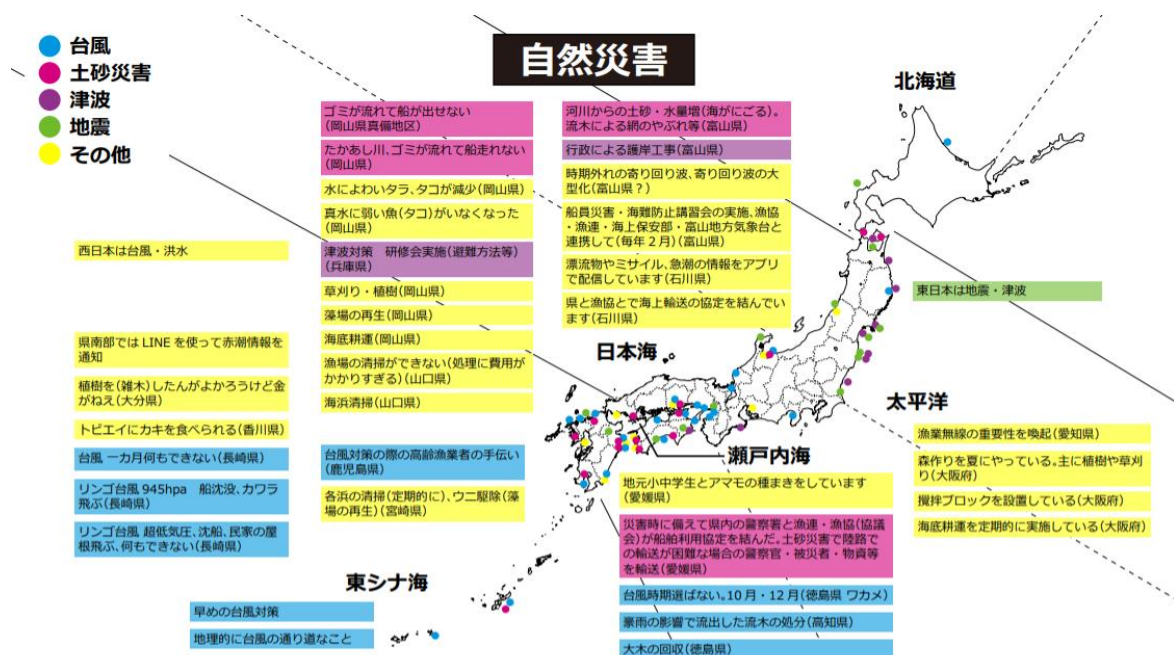
1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

全国の若手漁業者リーダーによる各地域の災害対策の情報交換

- ・ JF 全国漁青連は、全国的に豪雨や台風等の災害が続いた近年の状況を受け、全国の漁業者が集まる研修会において、「気候変動、自然災害を考える」取組を実施した。
- ・ 「災害に強い漁業にしたい」という若手部員の呼びかけがきっかけとなり、開催に至った。参加者は、北海道から沖縄まで普段はそれぞれの地域で活動する約 70 人が集結した。ワークでは、大きな日本地図を用いて、参加者がそれぞれの地域における近年の海の変化や発生した災害を書き込み、情報交換を行ったのち、グループに分かれて具体的な対応策等を議論した。
- ・ 地域横断的な情報交換を行ったことにより、西日本では主に台風や洪水への対応が、東日本では主に地震や津波への対応が進んでいるなど、地域による災害の違いや対策の違いも明らかになった。「災害時に備えて水上消防団を作っている」など、各地ですでに行われている優良事例や、新しいアイデア等も共有した。
- ・ 地域に関わらず災害が多様化している現在においては、それぞれの地域で今後起こりうる災害に対して、他地域で有効だった具体的な取組を参考にして、より安心安全な漁業をつくっていくことが期待される。



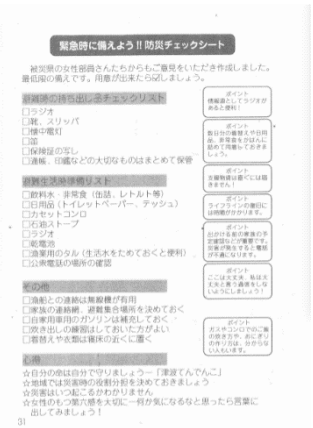
全国各地から集まったメンバーで議論



参加者が各地の状況を書き記した日本地図

「漁協女性部手帳」に防災チェックシートを掲載

- 全国漁協女性部連絡協議会（JF 全国女性連）では、毎年発行している「漁協女性部手帳」に、防災に関する内容を追加した。スケジュール帳としての機能や漁業の現場で役立つ情報、女性活躍に関する情報が掲載されている同手帳に、「緊急時に備えよう！！防災チェックシート」のページを作成した。
- ページには、東日本大震災を経験した漁協女性部の人々の意見を参考にして、当時を振り返って必要だったと感じる持ち出し品や避難生活に必要な備品等のリスト、避難生活に役立った漁業のアイテム・知恵等が掲載されている。また、それぞれが気に留めておいてほしいという内容が「ポイント」として記載されている。
- 「ポイント」には、「ガスやコンロでのご飯の炊き方や、おにぎりの作り方はわからない人もいます。」「出かけるときの家族の予定確認などが重要です。」など、普段の生活ではなかなか気が付かないが、予め家族で話し合い、準備しておくことで解決できるような取組のヒントが掲載されている。



漁協女性部手帳と防災チェックシート

2 現状の課題・今後の展開等

- 研修会でのワークを通して、漁業者が自然災害や環境変化に対して行うことができる具体的な取組が明らかになった。今後は、他地域で有効だった具体的な取組を参考にしながら、自身の地域の関係者とともに本当に必要な改善策について協議し、実施していくことが大切だという考えである。

3 周囲の声

- 全国的なつながり、情報のネットワーク、情報発信の大切さを実感した。（研修参加者）
- 研修会等に参加してコミュニケーションを図り、親睦を深めることが大切だと思った。（研修参加者）

担当者の声

- 漁業は、自然を相手に恵を享受する産業である一方、自然の脅威にも直面します。そのような中、安定的に旬の魚を消費者に届けるために、環境を守りながら自らの経営を維持することも大切です。自然災害は決して避けることができない現象ですが、それとどう向き合い付き合っていくか、いかに影響を小さく抑えるか、いかに復旧するかなど、事前に備えられることもたくさんあります。本取組は、知恵や経験を地域横断的に共有することで、防災（意識）のボトムアップにつながることを願い、実施しています。

問合せ先

全国漁業協同組合連合会（JF 全漁連） 法人番号：5010005002234

サイト URL

